

アイケ・エクスナ講演会

# アメリカ新聞連載マンガの

## 戦前和訳と

## 日本現代ストーリー

## マンガの起源

戦前の日本で本格的にコマ割りストーリーマンガが描かれ始めた時代に、多くの出版物で人気を集めていたのは、翻訳された海外マンガの数々であった。正式に著作権を取得して連載されたものから、無断転載や模写などに至るまで、多くの翻訳マンガが、戦前の漫画家と読者に影響を与えてきた。中でも、アメリカ新聞連載マンガは新聞や雑誌で広く人気を集め、「親爺教育」（アサヒグラフ、東京朝日新聞）「マットとジェフ」（大阪朝日新聞）「ハッピーフリガン」「フェリックス」（時事漫画）など、数々の作品が戦前の日本では愛読されていた。日本のストーリーマンガの歴史を考える上で欠かすことのできない、その実態について、アイケ・エクスナ氏が調査・研究の成果を発表する。

日時：2016年8月24日（水）14時～（13時40分開場）

会場：学習院大学（東京・目白）西5号館301（入場無料）

アイケ・エクスナ Eike Exner

ドイツ出身、2008年アメリカでハーバード大学文学部卒業。卒業論文のテーマは視聴覚メディアの翻訳。一年東京大学で研究生、2009年南カリフォルニア大学比較文学部修士博士課程入学。博士論文のテーマはアメリカ新聞連載マンガの戦前日本語訳。2014年から2016年城西国際大学メディア学部客員助教。

# 2016.8.24

学習院大学人文科学研究科身体表象文化学専攻